



## たった一言で・・・

先日、7日（土）から8日（日）にかけて、久しぶりに積雪がありました。午後からは上がる予報がありましたが、通学路の凍結が心配されたのと校舎の北側はなかなか溶けないため、雪かき用のスコップをもって村内の主要道路と校内の積雪状況を確認に行きました。初めは県道から自転車置き場までの坂道だけ除雪するつもりでしたが、生徒の皆さんが通る自転車置き場から昇降口までの通り道を作ったり、給食の配送車の通路の雪をどかしているうち止めるタイミングを失い、裏庭のほぼ全域の除雪になってしまいました。そして、もう終わりに近づいたとき、バス停のところに二人の一年生が歩いてきました。すると大きな声で、「ありがとうございます。雪かきを手伝いましょうか?」と声をかけてくれました。雪かきの道具が無いのともう終わりの方だったので「大丈夫です!ありがとう!」と言って申し出を断りましたが、温かい言葉、優しい心遣いに疲れが一気に吹き飛びました。

最近自分でもなるべく「Well Being」について考えるようにしていますが、今回はやろうと思ったことを実行に移したことで「やってみよう因子」を実感できたことと、こんな優しい生徒がいる素晴らしい学校に校長として勤められていることで「ありがとう因子」を実感できたことで、自分自身の「Well Being」が向上しました。とても幸せな一日でした。

## 熊谷富士見中とのオンライン授業 2月7日（金）



2年生の国語「聞き上手になろう」の単元で、他校との交流授業を実施しました。本校の2年生は5名のため、すでにお互いのことはおおよそ知っています。そこで、知り合いの先生を通して熊谷市立富士見中学校の2年生に交流授業を依頼し、実現しました。

富士見中学校は2年生が6クラスあり、1クラスの人数も37名です。今回は、そのうちの1クラスと交流を行いました。当

日は本校の3年生も加わり、いくつかのグループに分かれて活動しました。

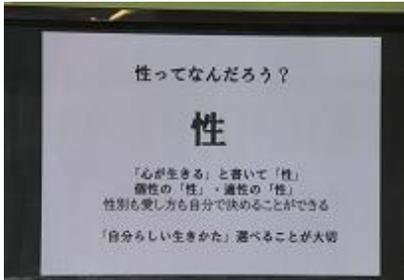
朝の会や昼休みにオンラインの接続状況を確認し、6時間目に授業として話し合い活動を行いました。最初はお互いに緊張した様子でしたが、次第に打ち解け、終了時にはどちらの学校の生徒からも「もっと話したかった」という声が多く聞かれました。



これを機に、今後もオンラインを活用し、他校との交流を図っていきたいと考えています。

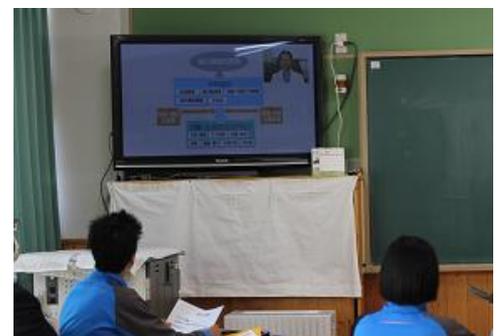
## 赤ちゃんふれあい体験教室 2月10日(火)・12日(木)

3年生を対象に「性に関する指導」、「生命(いのち)の尊重」の教育の一環として、赤ちゃんふれあい体験教室を行いました。10日の事前指導では、赤ちゃんの大きさ、重さを再現した人形を遣って抱っこやおむつ替え、妊婦体験グッズを装着しての階段歩行や靴下の着用などを疑似体験しました。12日には助産師さんから出産や生命についての話を聞き、その後様々な方のご協力で、実際に赤ちゃんとのふれあい体験をしました。自分の生命、他人の生命、そしてそれぞれのよりよい生き方を考える機会になりました。



## 村の福祉について～認知症サポート養成講座～

本校では、地域学習として総合的な学習の時間に村をテーマに調べ学習を行っています。理想の村を考え、現状とのギャップに課題を見出し、その解決を考えることで課題発見、課題解決能力を育むことが狙いです。その一環として2学年では、村の福祉について取り組みました。2月4日(水)には福祉協議会にご協力を頂き、どんな福祉に関する組織があるのか、また、その様々な活動についてご講義をいただきました。そして18日(水)にはその活動のひとつとして包括支援センターの方にご協力を頂き、認知症サポート養成講座を行いました。他の市町村に比べても少子高齢化が進んでいる本村においては、高齢者支援は喫緊の課題と感じます。そして、いざという時に中学生はとても貴重な戦力となるのではないのでしょうか。



## 学校評価について

昨年末は、アンケートのご協力いただきありがとうございました。結果についてはHPに掲載いたしますので、ご一読ください。